

あい愛 ひろば

Vol.43
2013.11.1 発行

発行／社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会
〒376-0006 桐生市新宿3-3-19
TEL.0277-46-4165 FAX.0277-46-4166
ホームページ <http://kiryu-csw.net>



「文化展」で楽しい秋の一日

主な内容

- 2……ボランティアセンター
- 3……美原長寿センター
- 4 } 平成24年度社協事業報告・決算
- 5 }
- 6……老人クラブに入りませんか 社協理事・監事・評議員を選任
- 7……赤い羽根共同募金 善意銀行
- 8……今後の事業のお知らせ 婚活リンゴ狩りツアー

10月12日にみやま園で開催された隔年の「文化展」では、みやま園利用者の作品展示、模擬店やバザー、餅つきなどが行われ、多数の来場者でにぎわいました。

ボランティア活動してみませんか

ボランティアセンター

地域福祉係

阪神・淡路大震災や東日本大震災など、大規模な災害が起こるたび、ボランティアが大活躍し脚光を浴びています。これらの災害がボランティア人口や活動の広がり契機にもなっています。

しかし、ボランティア活動は、災害時だけでなく身近な地域で、できる活動も多く、できる時にできることを無理なく続けることが大切です。

定年退職した人や子どもが成長し手が離れた人などが



何か地域社会と関わりたいと思っっている皆さん、ボランティア活動を気軽に始めてみませんか。

センターは

ボランティアセンター（以下、センター）は、ボランティアや市民活動を推進するため、様々なお手伝いをしています。

センターの役割

- (1) 登録、相談、紹介
ボランティア団体の登録や活動希望者の相談、活動先のコーディネートを行う。
- (2) 広報、啓発、情報提供
ボランティア活動に必要な情報の提供を行う。
- (3) 調査研究
地域における福祉ニーズの調査や状況把握を行う。
- (4) 養成、研修
ボランティアに関する養成講座や研修を行う。
- (5) 関係機関との連絡調整
各種団体との連絡調整を行い活動に繋げる。

(6) 機材の貸出
ボランティア活動に必要な機材の貸出を行う。

●気軽に相談を

「ボランティア活動を始めたが、何をどのようにすればよいかわからない」、「ボランティアの応援を求めたいがどうすればよいかわからない」そのようなときには、センターへご相談ください。

中でもボランティア活動をした人や団体等と、ボランティアを必要とする人や施設等をつなぐ、ボランティアコーディネーターは、重要な役割を担っています。

活動までの流れ

- センターへ相談
センター窓口で、ご希望の活動内容、場所、日時などをお伺いし、それを基に情報の提供や活動先の紹介などをいたします。
- ボランティア登録をする
ボランティア活動先を紹介する場合は、ボランティア登

受入ボランティア情報

市内でボランティアを受け入れている団体等の一例を紹介します。
具体的な施設等については、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

No.	施設・団体等	活動内容等
1	体験学習ボランティア かるがも会	小・中学校等の依頼により、児童・生徒へ車椅子操作、視覚障害者体験などの指導を行う
2	高齢者福祉施設 (入所施設、通所施設、グループホームなど)	話し相手、レクリエーションの補助、散歩補助 環境整備、施設整備、食事のお手伝いなど
3	障害児学童クラブ	遊びや学習補助、日常生活介助
4	障害児入所施設	遊び相手、話し相手、環境整備等
5	障害者生活介護施設	洗濯、話し相手、リハビリの補助、環境整備等
6	障害者就労継続支援施設	軽作業、余暇活動、軽運動
7	桐生市社会福祉協議会 桐生市障害者相談支援室	障害者スポーツ支援、サポート活動

録をしていただきます。その際に、ボランティア活動をすることにあたって気をつけることや、安心してボランティア活動ができるよう保険のご案内をします。なお、保険は全国共通で数百円で加入できます。

○活動開始
活動受入先が決まったら、事前に日程調整をして活動を開始します。活動後も、疑問や不安に思うことは、センターに遠慮なくご相談ください。

健康 長寿をお手伝い 美原長寿センター

在宅福祉係

高齢者のふれあい・憩いの場として、4ヶ所の長寿センター（美原、川内、境野、東）と、広沢老人憩の家、天神町のふれあいホーム、そして新里福祉センター、黒保根老人休養センターを社会福祉協議会が運営しています。これら高齢者の地域に密着した長寿センターなど8ヶ所の施設では、高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを推進しています。

今回は、桐生消防署近くにある美原長寿センターをご紹介します。

■開館

月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～午後4時

■利用料

市内居住の65歳以上は1日1000円
市内居住の60歳から64歳、60歳未満の介添人は1日2000円

■お風呂

洗い場も6ヶ所あり、広く、大きなお風呂で、利用は午前10時から午後3時。

■大広間

56畳敷きの広さで、通信ラオケや囲碁、将棋が無料で利用できます。

■健康コーナー

マッサージ機や背筋伸ばし機など8台あり、無料で利用できます。

■協力が運営に協力

美原長寿センターでは、地域の住民で組織した協力が、開館前の準備、利用者の受付、閉館後の清掃などを行っています。

「元氣おりおり体操」毎週実施

介護が必要な状態にならないように、筋力の維持向上を目的として、市が作成したオリジナル介護予防体操「元氣おりおり体操」を毎週1回実施しています。美原長寿センターに併設する美原デイサービスセンターの看護師と介護予防サポーターが、体操をお手伝いしています。

■日時 毎週火曜日（祝日・年末年始を除く）午後2時30分～午後3時

■対象者 市内居住の60歳以上

■参加費 無料。ただし、体操以外で長寿センターを利用する場合は、利用料が必要となります。

■申込方法 直接会場へお越しください。

利用者の声

○利用者の気持ちだが、みな前向きに生きており、元氣づけられます。（80歳女性）

○協力会のおかげで、お風呂も大広間も廊下も大変きれい

初めての利用でも

○初めての方もお気軽にお越しください。協力会や職員が温かくお迎えします。（美原長寿センター所長）

初のカラオケ大会 楽しく盛大に幕

長寿センターなど、高齢者の憩いの場である8施設から利用者の選抜者3人ずつ、合計24人が美原長寿センターに集まり、初の対抗カラオケ大会を、10月23日に開催しました。この催しは、市内各地域の利用者の交流と親睦を兼ねた初の試みで、当初9月16日の敬老の日を予定しましたが、台風の開東直撃から順延となっていました。

当日は、日頃練習している得意の持ち歌が熱唱され、応援も楽しく、大変盛り上がりました。

次回は別の長寿センターで開催する予定です。

アイパッドで脳トレ

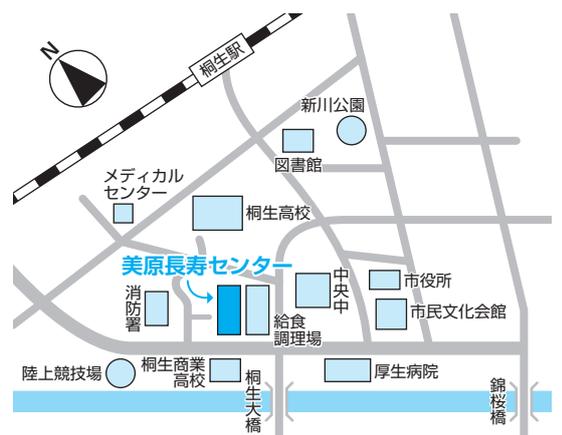
美原デイで介護予防

美原長寿センターに併設する美原デイサービスセンターでは、9月下旬、県内初と



なるiPad（アイパッド）を取り入れた「みつおか式脳若トレーニング」を開始しました。

この脳若トレーニングは、記憶力を鍛錬し、認知症や介護を予防するプログラムです。タブレット端末のiPadを使い、視覚や聴覚、指先を刺激して脳を活性化するほか、簡単な体操や懐かしい歌、道具の名前などを当てるクイズも行っています。参加者は、二人一組でiPadにも慣れ、話も弾み、楽しい時間を過ごしました。来年3月まで、美原デイサービスセンターで月に1回行っています。



社会福祉協議会

平成24年度事業報告及び決算

総務係

社会福祉協議会（以下、社協）の平成24年度事業報告と決算について、その概要をお知らせします。

会務の運営

●理事會・評議員會の開催
理事會は15名の理事をもつて構成、2回開催し、議案総数18件、報告総数38件について審議。また、評議員會は40名の評議員をもつて構成、理事會終了後2回開催し、議案総数8件、報告総数6件について審議。主な議案は事業計画・予算、事業報告・決算、各種規程の改正、補正予算などで、原案のとおり議決しました。

●監事會の開催
社協全体の業務執行状況や會計の処理状況等について、2名の監事が2日間にわたり監査。特に指摘事項はありませんでした。



事業概要

●地域福祉の推進
行政区ごとに置かれた社協支部は、活動の推進を図るとともに、地域福祉の推進に努めました。また、地域福祉活動計画に基づく見守り活動推進事業や、自主防災組織との連携、地域福祉活動推進事業等を実施しました。加えて、桐生・みどり両市の連携事業

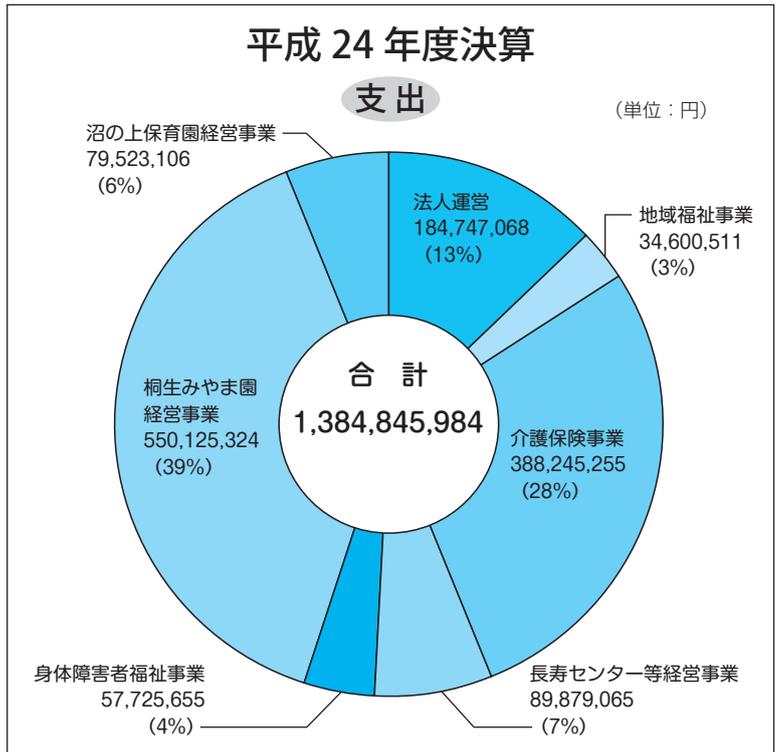
実施に合わせて、みどり市社協と各種事業の連携を図りました。

●福祉サービス利用援助
認知症高齢者・知的障害者、精神障害者など、判断能力が不十分な方が、安心して地域生活を送れるよう、生活支援員の協力を得て、桐生市・みどり市を実施地域として、福祉サービス利用援助等の支援を行いました。

●結婚相談
結婚を希望する方に対して、情報及び出会いの機会を提供し、さらに群馬県が実施する赤い糸プロジェクトと連携し、「であい相談事業」を行ってまいりました。また、相談員相互の情報交換や、相談事業の内容充実から、であい相談連絡會議を新たに開催しました。

●介護保険事業
介護保険法に規定する事業者として次の事業を実施しました。

平成24年度決算



●居宅介護支援事業
居宅サービス計画の作成、利用者に対する相談援助等を実施しました。

●ホームヘルプサービス事業
要介護者及び要支援者に入浴、排泄、食事等の介護等を実施しました。

●老人デイサービスセンター
5カ所のセンターにおいて要介護者及び要支援者または障害者に入浴、食事、機能回復訓練等の介護等を実施しました。

●東地域包括支援センター
地域の高齢者やその家族からの相談を受け付けるとともに、介護支援専門員等を対象として各種研修会を実施しました。

●広報・啓発事業
社協や社会福祉を目的とした事業を周知するため、広報紙「あい愛ひろば」を見直し、掲載内容、レイアウトの充実を行うとともに、ホームページの更新等を行いました。

平成 24 年度決算 収入

(単位：円)

項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
会費収入	3,484,480	自立支援費等収入	577,540,218
寄附金収入	4,050,774	補助事業等収入	8,386,811
経常経費補助金収入	182,047,455	私的契約利用料収入	12,625,167
助成金収入	393,000	就労支援事業収入	39,412,990
受託金収入	102,192,430	生産活動収入	100,384
事業収入	4,806	受取利息配当金収入	22,768
貸付事業等収入	953,801	雑収入	13,180,460
共同募金配分金収入	3,731,448	施設整備等補助金収入	3,540,000
負担金収入	4,973,870	積立預金取崩収入	6,630,488
介護保険収入	335,381,170	その他の収入	35,833,260
利用料収入	8,025,440	前期末支払資金残高	702,934,753
運営費収入	72,504,810	合 計	2,117,950,783

収入と支出の差額は 733,104,799 円は、当期末支払資金残高（平成 25 年度へ繰越）となります。

● ボランティア活動

「ボランティアセンター」では、ボランティアの登録、相談、紹介、調整等を行い、市民の福祉活動への参加を促進しました。また、次代を担う学童、生徒に社会福祉の理解を深めるため、福祉体験学

習や高校生ボランティアスクールの実施しました。

● 人材育成

「訪問介護員養成研修 2 級 課程」、「福祉入門ふれあい教室」、「家族介護教室事業」等を通じて、福祉人材の育成を行いました。

● 高齢者福祉サービス

介護者の情報交換のため「在宅ねたきり高齢者等介護者交流会」を開催しました。また、「桐生市オリジナル介護予防体操・元氣おり体操」、「にっこり楽々教室（運動、栄養、口腔ケアの実習及び講話）」の介護予防教室を実施しました。

● 沼の上保育園

市からの移譲後も、公立保育園当時の保育内容を継承するとともに、園外保育や食育給食の充実を図り、園児が心身ともに健やかに成長するよう保育を実施しました。

● 障害者福祉サービス

身体障害者の身体機能の維持向上、自立、社会参加を目的に機能訓練を実施しました。また、聴覚障害者が社会生活を営む上で意思疎通を円滑にするため、手話通訳者及び要約筆記者を派遣し、社会参加の促進を図りました。

点字刊行物や録音物を視覚障害者に提供する「点字図書館」を指定管理者として運営しました。また、在宅障害者が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように各種相談に応じ、障害福祉サービスの利

用支援等、必要な支援を行いました。

● みやま園

各施設（あづま寮、ねもと寮、なるかみ寮、みつみね寮、パン工房みやま、みやまホーム（グループホーム））で事業を実施し、利用者の職業的、社会的自立を目指した支援に取り組みとともに、老朽化した施設設備の改修等を進めました。加えて、非常災害協力会との連携を図りました。

● 社会福祉施設の運営

福祉の総合的な拠点として開設された「総合福祉センター」を指定管理者として運営しました。また、4ヶ所（美原・川内・境野・東）の長寿センター、広沢老人憩の家、天神町のふれあいホーム、新里福祉センター、黒保根老人



休養センターを運営しました。

● 福祉バス

市民の福祉活動を促進し、地域や福祉団体の研修等への利便を図るため、管理運営を行いました。

● 生活資金貸付

群馬県社会福祉協議会が貸付けを行う「生活福祉資金貸付制度」の一部業務を受託し、借入目的や世帯状況等に応じた相談支援や借入申込手続きを行ったほか、「小口生活資金貸付事業」など、資金貸付を行いました。

● 善意銀行

社会福祉事業に対する金品の寄附を受け入れ、寄附者の方々の趣旨に添い、ボランティア団体、福祉施設等に配分を行いました。

● 福祉団体事務局

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会など、福祉団体の運営が円滑に行われるよう支援しました。

● 被災地支援

ボランティア派遣協力、募金受付など、東日本震災被災地支援を行いました。



生きがいづくり、仲間づくりなど
入りませんか

老人クラブ

地域福祉係



老人クラブは、高齢者が住み慣れた地域で、親しい仲間と共に生きがいのある毎日を通らせるよう、楽しく語らい、健康づくり運動やお互いの助け合い活動、趣味や教養学習活動、スポーツや旅行あるいは世代間交流活動などを行っている、身近な団体です。

規入会者が少なく、老人クラブ内も高齢化が進んでいるという現実があります。

会員の増強を目指して

老人クラブでは、会員増強を図るため、75歳以下の会員で活動する青春倶楽部を5年前に創設し、新規会員獲得のために、交流会や意見交換を行っています。

レクリエーションの充実

また、健康づくりのための老人スポーツ大会をはじめとした各種スポーツの大会や、レクリエーションダンス講習会、芸能発表会など楽しみの活動にも力をいれています。

ひとり暮らし会員を

友愛訪問活動では、ひとり暮らしや寝たきりの会員のお宅を訪問し、2ヶ月に1回はお菓子と励ましの手紙を持って伺っています。

慰問活動も

おはなし隊は定期的に特別養護老人ホームを慰問し、踊りや歌等で入居者を励ます活



動を行うなど、人生の生きがいの場としていろいろな活動を行っています。

これからも、住み慣れた地域で長年培った知識や経験能力を活かし、魅力的な老人クラブ活動にできるような各種事業を実施します。

60歳以上の方で興味を持たれた方は、ぜひ各地域の老人クラブ、または社会福祉協議会にお問い合わせください。

社会福祉協議会 理事・監事・評議員が選任されました

総務係

会長(理事)

氏名	選出区分
津久井 弘	支部長(第18支部)

副会長(理事)

氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分
塚田 征子	民生委員	竹澤 四郎	団体	宮地 由高	学識経験

理事

氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分
蝦澤 裕二	支部長(第10支部)	吉田 和義	団体	前原 太	公務員	板橋 明	学識経験
藤生 保	団体	藤江 篤	学識経験	峯岸 健三	新里地域	北澄 貴子	施設長
鈴木 英子	団体	八木 計二	公務員	星野 勝美	黒保根地域		

監事

氏名	選出区分	氏名	選出区分
石川 健司	学識経験	星野 映子	学識経験

評議員(2名欠員)

氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分
弓納持雄一	支部長(第1支部)	田所 武男	支部長(第9支部)	鷗澤 尚	団体	菅又比佐子	民生委員	茂木あさ子	新里地域
金子 篤郎	支部長(第2支部)	山藤 貞夫	支部長(第12支部)	阿部 淳子	団体	長山 弘安	民生委員	笠原 サチ	黒保根地域
茂木 新司	支部長(第3支部)	岡部 克己	支部長(第13支部)	江原美代子	団体	坪井 良廣	奉仕者	尾池 實	黒保根地域
村田 永昌	支部長(第4支部)	川島 康雄	支部長(第14支部)	大澤 弘之	民生委員	小滝 芳江	市議会	小野里武一	黒保根地域
藤掛勇太郎	支部長(第5支部)	笠井 秋夫	支部長(第15支部)	芝田 道男	民生委員	西牧 秀乘	市議会	兵藤 明	黒保根地域
石関 博	支部長(第6支部)	塚田 勇夫	支部長(第16支部)	石坂 久江	民生委員	瀬谷 幸雄	新里地域	小林 茂樹	黒保根地域
堤 俊隆	支部長(第7支部)	須藤 博	支部長(第17支部)	林 進	民生委員	塚本政五郎	新里地域		
石崎 雄三	支部長(第8支部)	台 善一	団体	高草木 勇	民生委員	木暮 功	新里地域		

社会福祉協議会の理事・監事・評議員の任期満了に伴い、左記のとおり選任されました。

●任期
平成25年9月21日～平成27年9月20日

赤い羽根共同募金に

ご協力をお願いします

地域福祉係

共同募金は「じぶんの町を良くするごんごみ」

12月31日まで実施中

共同募金運動は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「福祉コミュニティづくり」を実現する活動を、住民相互の助け合いを基調として財政面から支援し、地域福祉の充実と発展を推進する役割を担っています。

また、大規模災害が発生した時に、被災者を支援する為の災害ボランティアセンター開設・運営の資金や、被災した福祉施設の復旧支援にも使われます。

目標額

1,195万5000円

○桐生市支会（旧桐生市）

1,009万8,300円

○新里分会

155万3,500円

○黒保根分会

29万8,700円

企業、事業所を訪問して行っています。

○学校募金

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の児童生徒等に、募金用封筒と赤い羽根を配付し行っています。

○職域募金

企業、官公庁などで、従業員を対象として行っています。

○イベント募金

イベントを活用し、その催しに集まる人を対象として行っています。

その他、様々な方法で、各種団体等に依頼して行っています。

■募金方法

○戸別募金

区別に目標額を設定し、各家庭に協力を依頼し行っています。

○街頭募金

街角や商店街などで、通行人を対象として行っています。

○法人募金

自治会関係者の協力を得て、

ご寄附ありがとうございました



善意銀行

平成25年6月～8月

地域福祉係

■寄附金（敬称略）

桐生ウチヨウラン研究会、写团まいね、安養寺「にんげん」の会、桐生織物協同組合、桐生繊維製品協同組合、桐生織物商友

会、匿名3件

■物品（敬称略）

荻野悦郎、特別養護老人ホーム菱風園、NPO法人あいおいスポーツクラブ、新二小梅婦人会、西場工業（株）、安養寺「にんげん」の会、森島織物、東洋ポリーズ（株）、匿名20件

支え合うふれ愛の輪輝く町に

ふれ愛フェスティバル

地域福祉係

10月6日（日）、総合福祉センターにおいて、「第19回保健・福祉・医療・生涯学習ふれ愛フェスティバル」が開催されました。

このフェスティバルは、市内で活動するボランティア団体等が自分たちの活動内容を市民のみなさんに知っていただくとともに、参加団体同士が横の連携をすすめる、支え合いとふれあいにあふれる桐生の町づくりにつながることを目的として行います。今年も、保健、福祉、医療、生涯学習に関わる54団体が参加し、当日は好天に恵まれ、約1,100人

の来場者をお迎えしました。

パネル展示、ステージ発表、体験コーナー、バザー、模擬店など盛りだくさんの催しに、終日賑やかな声が響き、みなさんの笑顔が輝く秋の1日となりました。

歯科訪問診療

桐生市歯科医師会

桐生市歯科医師会では、自宅で寝たきりの人や心身に障害があり、通院のできない人を対象として、歯科訪問診療や受診相談などを行っています。

■申込方法

所定の申込用紙に記入して、歯科医師会館（堤町三丁目45-1397）へお申し込みください。

所定の申込用紙は、歯科医師会館、長寿支援課（市役所1階）、健康づくり課（保健福祉会館1階）にあります。



今後の事業のお知らせ

ふれあい・子育てサロン 「こそだて子屋」

地域福祉係

手遊びや読み聞かせ、工作など、「遊び」や「おしゃべり」を楽しむ仲間づくりの場です。家族のような雰囲気、皆様をお迎えします。また、主任児童委員が子育ての相談にも応じます。

今回は市子育て支援センターと共催して、盛りだくさんの内容です。ご参加をお待ちしております。

■日時 11月22日(金) 午前10時～午前11時30分

■会場 総合福祉センター 2階 多目的室

対象者

未就園児の子どもと保護者

■参加費 無料

申込方法

直接会場へお越しください。

明るい年越し運動

黒保根支所

新たな年を迎える時期に支援を必要とする方が安心して暮らすことができるよう支援金を贈り激励する事業です。支援金は住民の皆様から寄せ

られた共同基金を活用しています。

■期日 12月末を予定

対象者

黒保根町内在住で、支援が必要な世帯又は在宅で6ヶ月以上寝たきりである高齢者を民生委員の協力を得て、対象者を調査決定いたします。



ひとり暮らし高齢者 ふれあい交流会

黒保根支所

黒保根町内在住65歳以上の在宅ひとり暮らし高齢者相互の理解と親睦を深めることを目的に実施します。

当日は各種団体による芸能発表、黒保根中学校生徒による交流、黒保根地区の食生活改善推進員による手作り弁当の提供をします。

■期日 11月19日(火)

■会場 黒保根老人休養センター

社協であい相談

婚活イベント狩りニター

地域福祉係

社会福祉協議会(以下、社協)では、結婚を希望する人の相談をお受けし、縁結びのお手伝いをしています。

人生のパートナーとしてふさわしい人に巡り会い、幸せな家庭を築くための出会いの機会として開催します。今回は、お見合いパーティー企画第二弾として、りんご狩りにでかけます。りんごだけでなく、素敵な人がきつと見つかります。秋のひと

ときを楽しく婚活しませんか。

■日時 11月17日(日)

午前9時集合

午後4時帰着予定

■行き先 沼田方面

内容

社協の福祉バスを利用して、りんご狩り(昼食付)をします。

対象者

であい相談に登録している49歳以下の人。未登録の人も同時に登録することで、申込みが可能です。ただし、男性

対象者

黒保根町内の在宅ひとり暮らし高齢者(65歳以上)

募集方法

民生委員を通じてお知らせし、取りまとめます。

母と子の

クリスマスケーキづくり

地域福祉係

母子家庭のお母さんと子どもが、楽しくケーキを作ります。母と子の会員がお手伝いします。

日時

12月8日(日) 午後1時～

は桐生市、みどり市に居住又は在勤している人に限ります。

募集人員

男女各14人

参加費

3,000円

申込方法

11月8日(金)までに申込書を社協へ持参又は郵送してください。募集人員を超えた場合には抽選し、参加の可否を通知します。申込書は社協又は社協ホームページにあります。

受付時間

月曜日～金曜日(祝日を除く) 午前8時30分から午後9時

午後2時30分

場所

総合福祉センター 調理室

対象者

母と子の会会員である母と子。非会員の人も同時に母と子の会へ入会することで、申込みが可能です。

定員

50人(先着順)

参加費

1人400円(スポンジ、生クリーム、苺付き)

申込方法

電話または来所により受け付けます。受付開始時期については、母と子の会各支部長を通じてお知らせするほか、社会福祉協議会ホームページでお知らせする予定です。

掲載関連施設・係のお問い合わせ先は次のとおりです

- ☆総務係・地域福祉係・在宅福祉係… ☎46-4165
- ☆美原長寿センター…………… ☎43-4002
- ☆美原デイサービスセンター…………… ☎43-4001
- ☆黒保根支所…………… ☎96-2201
- ☆みやま園…………… ☎65-6666

この広報紙は共同募金配分金により発行されています。